

平成30年度 構造解析ワーキング他（報告）

構造解析・石垣合同ワーキング

○平成30年12月25日（火）12：30～13：30

出席者：和田委員・長谷川委員・西形委員・山尾委員・田中委員・北野委員・宮武委員
文化庁・熊本県・熊本市・土木学会・設計者ほか

○平成31年1月29日（火）12：45～14：45

出席者：和田委員・長谷川委員・西形委員・山尾委員・田中委員・北野委員・宮武委員
文化庁・熊本県・熊本市・土木学会・設計者ほか

○平成31年3月5日（火）13：15～14：45

出席者：和田委員・長谷川委員・西形委員・山尾委員・田中委員・北野委員
文化庁・熊本県・熊本市・土木学会・設計者ほか

構造解析ワーキング

○平成31年1月29日（火）10：30～12：15

出席者：和田委員・長谷川委員・西形委員・山尾委員
文化庁・熊本県・熊本市・土木学会・設計者ほか

○平成31年3月5日（火）10：45～12：15

出席者：和田委員・長谷川委員・西形委員・山尾委員
文化庁・熊本県・熊本市・土木学会・設計者ほか

【合同ワーキング】

<1> 小天守入口復旧方針について・・・了承

小天守入口石垣は、昭和・明治に解体された部分に構造補強を行うが、解体修理する江戸時代オリジナルの石垣は構造補強を行わない。また下部の解体しない江戸時代オリジナル石垣は盛土で保護する。

<2> 石垣構造検討の方針について・・・継続審議伝統・在来工法の検証と石垣内外からの補強の検証を石垣実験含めた検証方法にて実施することを了承。
具体的な方法については平成31年度検討し、実施する。<3> 重要文化財下石垣復旧方針について・・・継続審議

【構造解析ワーキング】

<1> 重要文化財建造物下石垣構造検討について・・・継続審議

下記方針を基本に、平成31年度石垣復旧設計・検討を実施する（合同ワーキングでも内容報告）

〔平櫓下石垣〕

北面石垣の解体修理は必要

〔監物櫓下石垣〕

構造上の問題はないと想定されるが、部分的な変状があり、当該部分の解体修理は必要

〔南東櫓群下石垣〕

変状もなく構造上も安定していると想定されるため、解体修理の必要なし

<2> 飯田丸五階櫓石垣構造検討について・・・継続審議

引き続き補強方法含めた復旧方針を検討する

石垣ワーキンググループ（報告）

○第5回 平成30年10月18日（木）9:30～12:00

出席者：北野委員・田中委員・宮武委員
文化庁・熊本県・熊本市・施工者ほか

○第6回 平成30年12月25日（火）9:30～17:00

出席者：北野委員・田中委員・宮武委員
文化庁・熊本県・熊本市・施工者ほか

○第7回 平成31年1月29日（火）9:30～17:00

出席者：北野委員・田中委員・宮武委員
文化庁・熊本県・熊本市・施工者ほか

○第8回 平成31年3月5日（火）9:30～17:00

出席者：北野委員・田中委員
文化庁・熊本県・熊本市・施工者ほか

1. 天守石垣復旧について

○小天守石垣復旧・・・了承

小天守石垣復旧設計資料は完成。現在、積み直し工事を実施中

2. 飯田丸五階櫓石垣復旧について

○五階櫓台曲輪側石垣解体について・・・了承

〔ワーキング〕曲輪側石垣は、平成修理・復元のものであり、櫓台外側の解体範囲に合わせ、工法上必要な勾配（安全勾配）を根拠とした解体は了承。江戸期石垣の解体は慎重に行うこと。

○復旧勾配復元（案）について・・・了承

〔事務局〕了承された復旧勾配（案）で具体的な復旧勾配及び五階櫓台石垣の最終解体範囲を提示する。

○五階櫓台石垣（H266～269）の解体範囲について・・・継続審議

〔事務局〕被災前後の断面比較による孕み出し毀損部＝解体範囲とし、その下部の築石石材毀損状況も考慮した解体範囲案を提示。

〔ワーキング〕H267 南西隅角部と H268 南西隅角部は、解体範囲について再検討が必要。

○要人櫓台石垣（H255）復旧方針について・・・了承

〔事務局〕要人櫓解体範囲案と背面掘削による影響範囲を示し、復旧作業の安全性が確保できないため、要人櫓台石垣復旧工法を解体修理以外の工法を検討する。

○五階櫓台・要人櫓台石垣基底部等の発掘調査について・・・了承

〔事務局〕発掘調査成果は、既往のボーリング調査成果・地表面観察による飯田丸石垣時期別分布状況把握成果とあわせて総合的に飯田丸五階櫓台石垣立地環境・構造の把握資料とする。

3. 重要文化財建造物下石垣の復旧について・・・了承

○重要文化財建造物下石垣の被害状況・復旧状況を整理し、平成31年度の修復検討対象を提示。